

9 おたふくかぜ 流行性耳下腺炎

1 病原体名

ムンプスウイルス

2 年齢層

3～6歳が過半数

3 潜伏期間

2～3週間

4 症状とケア

- ✓ 発熱、両側（または片側）の耳の下のはれ、飲み込むときの痛み
- ✓ 髄膜炎、難聴、こう丸炎などの合併症を起こすことがあります。
- ✓ 耳の下がはれてから5日が過ぎ、全身状態が良好になるまでは学校へは出席停止です。
- ✓ 脱水症状に注意し、安静にします。通常1～2週間で軽快します。



5 診断と治療

- ☑ 症状の問診と診察で診断を行います。
- ☑ 抗体検査がありますが、結果が出るまで時間がかかります。
- ☑ 特別な治療方法はなく、対症療法を行います。

6 家庭に持ち込まないために

- ☑ ワクチン接種（任意接種）が唯一の効果的な予防方法です。1歳になったら1回目を接種し、小学校入学の前年に2回目を接種することが推奨されています。
- ☑ 感染経路は飛まつ感染と接触感染です。



⑨ おたふくかぜ（流行性耳下腺炎）

7 家庭で拡げないために

- ☑ 耳の下がはれてから5日間は感染力があります。
- ☑ 看病する家族はマスク、手洗い、アルコールでの手指消毒を行います。